

ひまわり新聞 14



福祉作業所「ほっとライフ」の皆さん

東京オリンピック開催まで、あと2年！

カウントダウン種まき式開催

二〇二〇年に開催される東京オリンピック開幕のちょうど二年前にあたる二〇一八年七月二十四日に、福島県福島市にある福祉作業所「ほっとライフ」で「二年前カウントダウン種まき」を行いました。

この作業所は「福島ひまわり里親プロジェクト」の仕事を依頼している福祉作業所の一つで、福島県内に配布している全国から届いたひまわりの種の袋詰めや、ダイレクトメールの封入作業などを行っています。

種まき式では、まず種まきの流れを利用者の皆さんに説明しました。おそろいのひまわりTシャツを着た皆さんは、たびくまくと一緒にプランターに種をまきました。種まきが終わった後は、プランターの一つ一つに「きれいな花が咲きますように」と願いながら水やりをしました。

この日に植えたひまわりは、福島県川俣町にある山木屋地区復興拠点商業施設「とんやの郷」で九月九日に開催されたお祭り会場に置かれ、咲き誇ったひまわりの花が人々の心を和ませてくれました。

とんやの郷は、二〇一七年三月三十一日に避難解除された山木屋地区にあり、買い物や飲食、交流機能を中心に、避難から帰還された方々の生活支援や人が集まり、にぎわいを生み出すために、また避難によって散り散りになってしまった地域コミュニティの再生に貢献している施設です。昨年のお祭りでも、ひまわりの種の配布やひまわりプランターの設置を行いました。



コラボレーション



ゴッホの「ひまわり」とコラボレーションイベント開催

NPO法人チームふくしまが「新しい東北」復興ビジネスコンテスト二〇一七（復興庁主催）で「損保ジャパン日本興亜賞」を受賞したことが縁になり、東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館に展示されているゴッホの「ひまわり」と、福島ひまわり里親プロジェクトのコラボレーションが実現しました。里親さんを代表してガールスカウト千葉第63団、安城学園高等学校（愛知県）が出席。関係者の皆さんと一緒に、ひまわりつながりのイベントを開催しました。会場には安城学園高等学校商業科2年1組の皆さんが制作した和紙ちぎり絵「ゴッホひまわり」も展示され、イベントに華を添えました。

ひまわりつながりのイベントは六月二日（土）、東京都新宿区にある損保ジャパン日本興亜ビル1階ロビー会場で行われました。NPO法人チームふくしま理事長、半田のご挨拶のあと、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、CSR室佐々木課長、復興庁総合政策班「新しい東北」ご担当の神田様、認定NPO法人ふくしまNPOネットワークセンター 深澤様より、ご挨拶をいただきました。

次に里親さんたちがプラントにひまわりの種をまきました。このプラントは、新宿区立新宿養護学校の皆さんに育てていただきます。

その後、同ビル内にある東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館に移動し「ゴッホの「ひまわり」」が展示されている部屋に入り、絵画の前で復興応援ソング



「ひまわり」を合唱。皆さんの笑顔が忘れられない式典となりました。

ゴッホの「ひまわり」は、一八八八年八月から一八九〇年一月にかけて描かれた、花瓶にいられたひまわりをモチーフとする複数の絵画の名称です。損保ジャパン日本興亜美術館に展示されている「ひまわり」は、一八八八年に描かれた作品で、損害保険ジャパン興亜株式会社が創業された年と同じという縁があります。また日本で唯一、ゴッホの「ひまわり」を見ることができるとして親しまれています。このような機会をいただき、損害保険ジャパン日本興亜株式会社の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。



ガールスカウト千葉第63団、安城学園高等学校の皆さんで種まき



ゴッホ「ひまわり」の前で「ひまわり」を合唱



損保ジャパン日本興亜ビル1階にて

「新しい東北」復興ビジネスコンテストについて

復興庁が設立した「新しい東北」官民連携推進協議会で、被災地の産業復興に向けた地域産業の創出の機運醸成を図ることを目的に、二〇一四年度より「新しい東北」復興ビジネスコンテストを開催。コンテストでは正賞のほか、副賞として、協賛団体より賞金を用意。また受賞団体の取組などの周知や事業化、事業拡大に資する特典もあります。



損害保険ジャパン興亜株式会社 佐々木様



復興庁総合政策班「新しい東北」神田様



認定NPO法人ふくしまNPOネットワークセンター 深澤様

ひまわり甲子園



たくさんの感動をありがとう！ ひまわり甲子園二〇一八全国大会

「震災があったからこそ、生まれた物語」を発表する「ひまわり甲子園二〇一八全国大会」は、二〇一八年三月十一日（日）、福島県福島市にある「エルティウエディング・パーティエンポリウム」で行われました。東日本大震災から七年後にあたる日の開催となり、特別で感慨深いものがありました。当日お越しいただいた来賓の皆さま、発表へのコメントをくださった皆さまをはじめ、甲子園全国大会を開催できるのは、プロジェクトに関わってくださったすべての皆さまからのご支援、ご協力のためものです。深く感謝申し上げます。

- 選手宣誓** 福島県立福島高等学校3年 鈴木陽介さん
- プレゼンター（敬称略）**
- 全国子ども部門 中部・関西地区代表 三重県 松阪市立阿坂小学校
 - 中国・四国地区代表 島根県 出雲市立大津小学校
 - 九州・沖縄地区代表 佐賀県 唐津市立浜玉中学校
 - 福島子ども部門 東北地区代表 子どもがふみだす ふくしま復興体験プロジェクト
 - 教育部門 信州・北陸地区代表 長野県 佐久穂町立佐久穂小学校 教諭 酒井啓喜
 - 企業部門 関東・東海地区代表 静岡県 株式会社社長坂養蜂場
 - 映像発表 鳥取県 鳥取県立鳥取東高等学校 愛知県 安城学園高等学校
 - 復興応援ソング「ひまわり」合唱 特定非営利活動法人 和



オープニング演奏 山木屋太鼓



選手宣誓



松阪市立阿坂小学校（敬称略）



佐久穂町立佐久穂小学校 教諭 酒井啓喜



ふくしま復興体験プロジェクト



株式会社社長坂養蜂場



出雲市立大津小学校



唐津市立浜玉中学校



復興応援ソング「ひまわり」合唱



ひまわり甲子園の動画を視聴できます。

You Tube URL : goo.gl/ZExqyi



里親さんの取り組み

秋田県初！ 太平洋自然学習センター「まんたらめ」に きずなの種を寄贈（秋田県）

八月六日（月）に、秋田市の小中学生の宿泊研修施設として、二〇一三年に開館した太平洋自然学習センター「まんたらめ」に、同市の不動産会社リネシス株式会社 代表取締役社長、森裕嗣様、「RUE HALL」代表の畠山哲様から、福島県との「きずなを繋ぐ」ひまわりの種の寄贈が行われました。秋田県内の教育機関としては初めて、ひまわりを育てていただくこととなります。この日はメディアの取材もたくさん入りしました。関係者の方々の尽力に感謝すると共に、これを契機に秋田県内で、ひまわりの種の活動が広がっていくのが楽しみです。

今回の寄贈式により、国内すべての都道府県の教育機関が「福島ひまわり里親プロジェクト」に、ご参加いただいたことになりました。その点においても、大変意義ある寄贈式となりました。



福島との「きずな」を繋ぐひまわりの種「寄贈式」の様子



多くのマスコミから取材をうけました

NTT東日本―関信越で種まき会開催（埼玉県）



五月十五日（火）、NTT東日本―関信越で、ひまわりの種まき会が開催されました。イベントには「たびくまくん」も招待され、近隣の保育園の園児の皆さん、社員の皆さんと一緒に会社敷地内の花壇に種をまきました。園児たちから大人気のたびくまくん。楽しい時間をすごすことができ、園児たちも大満足のイベントになりました。種まき会の後は、社員の皆さんがひまわりの世話をされました。一カ月後には八〇センチの高さに成長。「福島ひまわり里親プロジェクト」の看板が立てられた花壇で、ぐんぐん大きく育ちました。

宇治ひろの学園で種まき会（京都府）



六月二六日（火）、宇治ひろの学園で、ひまわりの種まき会が行われました。宇治市立広野中学校、大久保・大開両小学校の三校が連携して活動が続いています。この日は、広野中学校の生徒さんが紙芝居「たびくまとひまわりだけ」の読み聞かせを行い、プロジェクトの活動を説明しました。続いて児童、生徒の皆さんが広野中学校の花壇に、ひまわりの種をまきました。

当日は震災初年度からプロジェクトに参画されている、のぞみ鍼灸整骨院小川由智院長も出席されました。

里親さんの取り組み・コラボレーションイベント



プロジェクトの説明に一生懸命な新入社員の皆さん



※ひまわりハチミツアイス
田村市大越町牧野地区に咲くひまわりから採取したハチミツをアイスに加工したもの



アイスときずなの種セットを受け取る社員さん

富士工業株式会社で新しい試み（神奈川県）

富士工業株式会社では、社員教育とCSR事業の一環として、新入社員の皆さんが会社の敷地内にひまわりを栽培し、採れた種を福島に送り返すという、絆を深める取り組みを毎年続けています。今年も新しい試みとしてプロジェクトを担当している相模原事業所の新入社員十一名の方々が、五月三十一日（木）、会社の昼休みを利用して「ひまわりハチミツアイス※」「きずなの種セット」「福島ひまわり里親プロジェクト物語（コミック）」を社員食堂で社員の皆さんへプレゼントするイベントを企画されました。

NPO法人ココネット・ママ（郡山市）×「種まき&お仕事体験」



七月一日（日）、福島県郡山市にある農家イタリアン Arigato で、子育て支援団体、NPO法人ココネット・ママとのコラボレーションイベントを開催しました。まず最初に全国の里親さんから届いたひまわりの種約一五〇粒を、子どもたちはポットに、大人はプランターに植えました。

続いて Arigato のシェフの皆さんの指導のもと、ケーキを飾ったデザートプレート作り挑戦。パティシエの仕事を経験しました。飾り付けられたプレートひと皿ひと皿に、子どもたちの個性が感じられました。

NTT東日本×ひまわり畑「eセンシングForアグリ」報道発表

田村市大越町牧野地区で活動する「牧野ひまわり会」が管理するひまわり畑に、NTT東日本から「eセンシングForアグリ」が提供されました。この設備はセンサーによって圃場の環境チェックやデータ収集ができ、生産性の向上をサポートするシステムです。

福島の復興をPRする各種イベントに合わせて、計画的なひまわりの育成を可能にするために、今後ひまわり畑の温度、湿度、照度、土中における温度、湿度のデータの収集とひまわりの育成状況のモニタリングを実施します。その報道発表を、七月五日（木）に行いました。



種の寄贈式



株式会社 AC 福島ユナイテッド 代表取締役 鈴木 勇人様



子どもたちと一緒にペットボトルプランター作りをする選手たち

**福島ユナイテッドFCへ
全国から届いたひまわりの種を寄贈（福島県）**

七月十六日（月・祝）、福島県会津若松市にある「あいづ陸上競技場」で、全国から届いたひまわりの種を、福島ユナイテッドFCへ寄贈しました。このクラブは日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）に加盟している福島県全県をホームタウンとするサッカークラブです。この日は、福島ユナイテッドFCとアスロクラロ沼津（静岡県）の試合でした。

寄贈式は試合のハーフタイムの時にを行いました。またペットボトルを使って、ひまわりの種を植えるワークショップのブース出店も、福島ユナイテッドの選手の方皆さんも、子どもたちと一緒にペットボトルのプランター作りに参加しました。この日会場した一三〇〇名以上の方々にも、ひまわりの種を配りました。



東洋大学付属姫路高等学校の皆さんと



福島県ひまわり大使 松井絵里さん

**福島県営あづま運動公園に、
全国から届いたひまわりの種を寄贈（福島県）**

八月二日（木）、福島県営あづま運動公園に、全国から届いたひまわりの種を寄贈しました。寄贈式では公益財団法人福島県都市公園・緑化協会、大河原聡理事長が、東洋大学附属姫路高等学校の皆さんから、ひまわりの種を受け取りました。

兵庫県の東洋大学附属姫路高等学校の皆さんは、活動の一環として二〇一八年度の文化祭で福島の復興を願い、福島県の商品（ももジュースなど）の販売やひまわりの種のプレゼント、福島への応援メッセージカードの作成などを行いました。夏休みを利用して七月三一日から来福し、取り組みの様子を報告したり、福島県に来ての感想をお話されました。

福島ひまわり里親プロジェクト原美子理事より、プロジェクトの説明と参加へのお礼を伝えました。またひまわり甲子園二〇一八全国大会で活動を発表した、福島県ひまわり大使、松井絵里さんが、ひまわりメッセージカードを寄贈しました。

応援メッセージ

グンゼ株式会社 大阪本社



年々参加人数が増えている「福島ひまわり里親プロジェクト」は全国各事業所で、ひまわりと共に笑顔と幸せが広がっています。今年4月に全社案内したところ、25事業所から応募があり、7,500粒の種を注文することができました。

グンゼ株式会社 綾部本社



青空いっぱい6月25日（月）、「せんだん苑こども園」の園児たち24人と先生が、グンゼ博物苑にひまわりの種まきに来てくれました。ちっちゃな手で種を握って、とってもじょうずに1,200粒をまきました。

グンゼ物流株式会社 山梨物流センター



6月1日（金）、社員全員で花壇の整備をしました。5日（火）に物流センター近隣の「さくらんぼ保育園」の園児24名を含めた、総勢120名で種まきを行いました。センター社員全員が、園児の笑顔にほっこりした一日でした。

グンゼ物流株式会社 西宮物流センター



6月22日（金）、敷地内のひまわりが40～50cmに伸びてきました。肥料をあげてから、ひまわりの茎も太く葉も大きくなっています。水やり当番もひまわりの成長を記録して、みんなで大きく育ててくれるのを楽しみにしています。

グンゼ株式会社 研究開発部・京都



大きな種から生まれたものは大きな花を咲かせ、より大きな種になるであろう遺伝子を信じ、まずは研究所らしく精密天秤にて重さを計測。重い順から「神7」を選抜しました。「研究生74」粒とともに、今後英才教育を施し育てていきます！

株式会社つかしんタウンクリエイト



6月13日（水）、テナントであるインターナショナルスクールの生徒約30名、先生4名と一緒にひまわりの種まきを行いました。当日は晴天でしたが気温はあまり高くなく、絶好の種まき日和でした。園児たちと交流しながら楽しく種まきを終わることができました。

里親さんの メッセージ

応援、ありがとうございます！

メッセージ送り先



（敬称略）

岡山積水工業株式会社



2014年から社内での自部署のメンバーと活動を開始してきましたが、5年目の今年から会社のCSR活動の一環として全社的に活動することになりました。社内の12の部署で合計320本のひまわりを育てています。



ふくしま ひまわりマップ 2018



種の寄贈先 (敬称略/2018.8.31 現在)

種の寄贈先 (敬称略/2018.8.31 現在)

福島市

- ・福島銀行 OB 会
- ・有限会社鈴木設計
- ・福島県立視覚支援学校
- ・岸波酒店
- ・ニュー木村屋
- ・月電工業株式会社
- ・福島わかさ幼稚園
- ・美いず
- ・やまろく商店 松川店
- ・株式会社フクトウ
- ・NTT東日本 福島支店
- ・福島県立福島明成高等学校
- ・飯野ライオンズクラブ
- ・福島県立図書館
- ・NPO 法人キッズハウス りんごっこ
- ・福島大学 災害ボランティアセンター
- ・福島大学 学生ボランティアグループ Key's
- ・beishhair
- ・整体院縁
- ・福島大学附属特別支援学校
- ・福島市立吾妻中学校
- ・福島民報社
- ・cafe ひらなが
- ・盆栽や あべ
- ・放課後等デイサービス むすび
- ・学校法人 さくら幼稚園
- ・波恵ダンスカルチャーパーク
- ・福島市役所
- ・福島ユナイテッド FC
- ・福島県立福島西高等学校 野球部
- ・福島県都市公園・緑化協会

いわき市

- ・ひまわり信用金庫
- ・いわき市立平第一小学校
- ・いわき市立中央台東小学校
- ・いわき市立夏井小学校
- ・いわき市立大野第二小学校
- ・いわき市立勿来第二小学校
- ・いわき市立藤間中学校
- ・いわき市立久之浜中学校
- ・いわき市立立川部中学校
- ・からすや食堂

郡山市

- ・株式会社柏屋
- ・有限会社サワカミ
- ・夢成株式会社
- ・株式会社アディカ
- ・オフィス・クリエイト福島
- ・福島スバル自動車株式会社
- ・株式会社フレッシュ
- ・あさひがおか保育園

二本松市

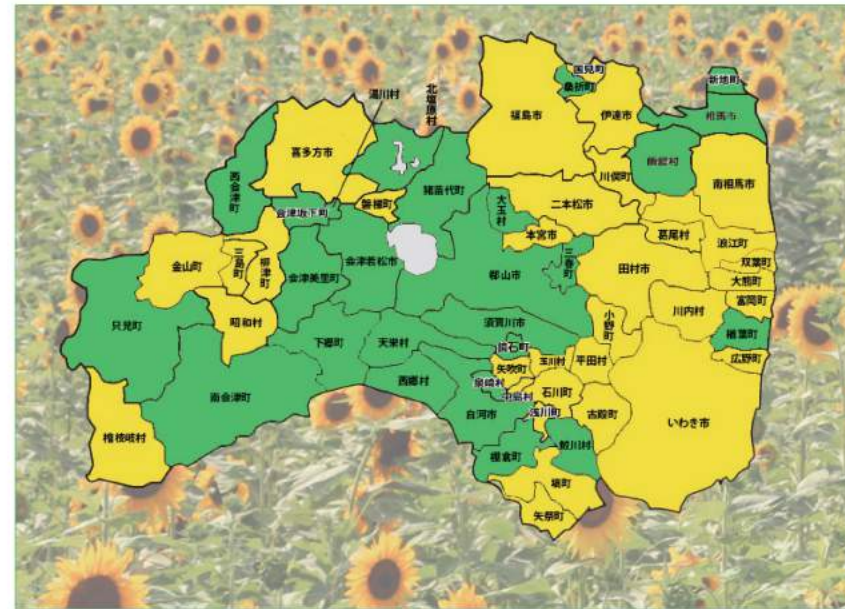
- ・二本松市立北小学校
- ・株式会社渡辺養蜂場
- ・二本松市役所 岩代支所
- ・二本松市役所
- ・NPO 法人和

浅川町

- ・浅川町役場
- ・NPO 法人あづまっぺ
- ・浅川町教育委員会

福島県内の行政寄贈状況 (2018.10.31 現在)

福島ひまわり里親プロジェクトは、福島県の大地が「復興のシンボル」ひまわりの花でいっぱいになりますようにという願いを込めて、2020年に開催される東京オリンピックまでに県内59市町村すべてに、ひまわりの種を送る計画です。



黄色：行政・教育機関へ寄贈した市町村
緑：教育機関へ寄贈した市町村



たびくまぐん

猪苗代町 ・猪苗代ハーブ園

小野町 ・小野町役場

鏡石町 ・くるくるファーム

葛尾村 ・葛尾村役場

矢祭町 ・矢祭町役場



田村市

- ・大越まちづくり協議会
- ・牧野ひまわり会
- ・田村市立大越小学校

本宮市

- ・本宮市役所
- ・本宮市教育委員会
- ・NPO 法人本宮いどばた会

会津坂下町

- ・株式会社太郎庵
- ・会津坂下町立坂下東小学校

喜多方市

- ・花みずき ボランティア
- ・NPO 法人喜多方市民活動サポートネットワーク

須賀川市

- ・アックス須賀川店
- ・須賀川信用金庫

伊達市

- ・株式会社ナプロアース
- ・二井田地区保全会

浪江町

- ・青田荘
- ・浪江町役場
- ・浪江にじいろこども園

石川町 ・石川町役場

大熊町

- ・大熊町ひまわりプロジェクト

金山町 ・金山町役場

北塩原村

- ・Active Resorts 裏磐梯

国見町 ・国見町役場

桑折町 ・有限会社藤倉保険企画

昭和村 ・昭和村役場

玉川村 ・玉川村役場

中島村 ・富士工業株式会社 白河事業所

磐梯町 ・磐梯町教育委員会

檜枝岐村 ・檜枝岐村役場

古殿町 ・古殿町役場

三島町 ・三島町役場

南相馬市

- ・福島県立小高産業技術高等学校

矢吹町 ・矢吹町役場

柳津町 ・柳津町役場

好評発売中!

福島ひまわり里親プロジェクト物語
～チームふくしまの軌跡～



- 価格：1,080円(税込) + 送料 220円
- 作：田原実
- 画：西原大太郎
- 発行所：株式会社インフィニティ
- 印刷所：株式会社しまや出版
- 発売日：2018年3月11日

二〇一一年三月十一日、東日本大震災発生。甚大な被害が出ましたが、福島県はそれに加え、原発事故によって放出された放射性物質による被害にも見舞われました。そんな時、若手経営者が中心となって福島を盛り上げようと「チームふくしま」を結成し、ひまわりを活用した福島復興への取り組み「福島ひまわり里親プロジェクト」が生まれました。

このプロジェクトはいったいどんな活動なのか、そして、このプロジェクトから生まれた感動物語とは…?

〈アマゾンカスタマーレビューより〉

コミックなので、子どもたちも読みやすいと思いました。震災を経験していない、記憶がない子どもたちが読んで、「こういう出来事があったんだ」という事実、そして、そこから何を学び、気づかされたのかを感じてもらえたらいいと思います。

オフィシャルネットショップがオープンしました!

(カードでのお支払いも可能です)
ショッピングサイトQRコード



5月3日(木) 種まき式

6月3日(日) 苗植え



Sunflower wedding

～種まきから挙式まで～

今年で6回目となる「ひまわり結婚式」。種まき式は約80名が参加し、3万本分のひまわりの種まきを行いました。参加した新郎新婦は3組。祝いの餅つきのあと、山木屋太鼓のお祝い演奏やBreathing BUDS(ブリージングバッツ)のお祝いコーラスを楽しみました。種まき式から1カ月後の苗植えは、牧野ひまわり会の皆さんが中心になり、約3万本の苗を牧野地区の愛宕山つつじ公園周辺に植え替えました。

そのひまわりの花が満開を迎えた8月の結婚式。さんさんと輝く太陽とひまわりに見守られながら、大谷さんご夫妻、坂根さんご夫妻、佐川さんご夫妻、佐野さんご夫妻、中城さんご夫妻が、誓いの言葉、誓いのキスを交わしました。200名を超える方々に見守られ、温かく感動的な式でした。



8月15日(木) ひまわり結婚式



「ひまわり結婚式」の動画を視聴できます。
YouTube URL : <https://youtu.be/IOhwwhSX-uQ>



福島県立図書館にひまわりの種とコミックを寄贈(福島県)

六月十九日(火)、チームふくしまの原理事より、福島県立図書館に、ひまわりの種一〇〇袋とプロジェクトについて書かれた本「ひまわりが咲くたびにふくしま、が輝いた!」 「福島ひまわり里親プロジェクト物語」各一〇〇冊を寄贈しました。

この本は福島県内59の市町村の図書館、公民館などに配布されます。



5月24日 山陽日日新聞掲載

尾道市内の小中学校にコミックと種を寄贈(広島県)

福島ひまわり里親プロジェクトを応援し、コミック「福島ひまわり里親プロジェクト物語」の発行所である株式会社インフィニティが、尾道市内の小中学校全四〇校にコミックとひまわりの種を寄贈しました。五月二十二日(火)、代表取締役社長の田原実さんが尾道市教育会館を訪れ、佐藤昌弘教育長に贈りました。



新聞掲載

五月三日 中国新聞 掲載

ヒマワリ育て福島応援

広島商会

六月八日 福島民友 掲載

ヒマワリの種贈る あさひがおか保育園にNPO

六月三日 中日新聞 掲載

ヒマワリ育て復興支援

福島の子供たち

六月二十七日 福島民報 掲載

ヒマワリの種5000粒贈る

七月十九日 城南新報 掲載

ヒマワリに愛誓う

6組が結婚式

五月三日 福島民報 掲載

ヒマワリ種100袋寄贈

六月十三日 福島民報 掲載

二本松市にヒマワリの種 復興支援NPOが6万粒寄贈

六月二十六日 京都新聞 掲載

ヒマワリ大きく育ててね

七月十七日 日刊県民福井 掲載

ヒマワリの種贈る

八月十八日 福島民友 掲載

ヒマワリに愛誓う

6組が結婚式

六月五日 福島民報 掲載

「ひまわり」に復興願う

六月十五日 福島民報 掲載

須賀川信金にヒマワリの種 NPOチームふくしま 2000袋贈る

六月二十六日 福島民友 掲載

ヒマワリ大きく育ててね

七月十八日 山陽新聞 掲載

福島復興の種育て

八月二十六日 福島民友 掲載

「ひまわり」に復興願う

新聞掲載



福島ひまわり里親プロジェクトの記録

掲載記事を含め全国各地で新聞掲載70回、テレビ報道10回もとりあげていただきました。ありがとうございます！（2018年1月～2018年8月）



一月二十九日 山陰中央新報 掲載

大津小(出雲)が両県初出場

三月十一日 福島民報 掲載

5団体、復興支援活動報告

四月二〇日 福島民友 掲載

ヒマワリの種5万粒 大熊町にチームふくしま寄贈

五月四日 福島民報 掲載

ヒマワリに愛を込めて

二月十四日 中日新聞 掲載

福島支援ヒマワリ栽培

三月十三日 福島民友 掲載

福島で佐賀の中学生

四月二六日 福島民報 掲載

本宮市に種200袋贈呈

五月五日 福島民報 掲載

復興の花咲かせて

三月四日 佐賀新聞 掲載

浜五中 ヒマワリ通じ被災地と交流

四月三日 静岡新聞(夕刊) 掲載

福島復興 ひまわりの輪

四月二九日 福島民友 掲載

浅川町にヒマワリの種

五月十二日 長野市民新聞 掲載

ヒマワリ育てて福島支援

「ひまわりTシャツ」のデザインが新しくなりました!

ひまわりの種がデザインされたかわいいTシャツは色違いの2種類。男女問わず着用できます。



チャコール



ネイビー

サイズ/キッズ 120・キッズ 130・S・M・L・XL・XXL

- 素材 / 綿 100%
- 価格 / 3,000 円 (税込)
- 送料 / 無料
- 注文方法 / ショッピングサイトからご注文ください。

ショッピングサイトQRコード
 YouTube URL : <https://himawaritane.official.ec/>



ルポ絵本「ぼくのひまわりおじさん」発刊!

福島ひまわり里親プロジェクトで大変お世話になっている、福島県田村市で農業を営む元農業高校教師・牧野ひまわり会会長・佐久間辰一さんをモデルにしたお話。太陽の下で汗を流すこと、心を開くこと、受け入れること、感謝すること、許すこと・・・日々を祝い、人生を味わう暮らしのすばらしさを感じることができる絵本です!



- ルポ絵本『ぼくのひまわりおじさん』
- 価格: 1620 円 (税込) + 送料 100 円
- 監修: 半田真仁 (NPO 法人チームふくしま 代表理事)
- 絵本: チャンキー松本 (絵本作家、切り絵師)
- ルポ: 中島敏子 (燕游舎)
- 発行: 文屋 (長野県小布施町 <http://www.e-denen.net>)
- 発売日: 2018 年 8 月 15 日

ショッピングサイトQRコード
 YouTube URL : <https://himawaritane.official.ec/>



収穫した「ひまわりの種」は
 特定非営利活動法人 和 (なごみ) に送ってください



種の送り先

〒969-1403 福島県二本松市渋川字大森越 122
 特定非営利活動法人 和(なごみ)
 福島ひまわり里親プロジェクト事務局
 TEL 0243-23-4551

NPO 法人チームふくしま福島ひまわり里親プロジェクト
 TEL:024-563-7472
 HP : <https://www.sunflower-fukushima.com/>

HPヘリンク



編集後記

「ひまわり新聞14」をお読みいただきまして、ありがとうございます。新聞を通して、今年度の活動の雰囲気を感じてもらえたら嬉しいです。二〇一九年三月九日は「ひまわり甲子園二〇一九全国大会」を福島県福島市にて開催いたしますので、たくさんのご参加お待ちしております! それでは、次回号もどうぞお楽しみに!

NPO 法人チームふくしま 事務局 清野 巽